

平成 17 年度丹羽賞等受賞団体

< 丹羽賞授賞団体 (7 団体) 5 万円 >

工学部第一部 体育会 空手道部 (人数 11 名)

春季関東学生リーグ戦 3 部において優勝し、2 部に昇格を果たした。また関東学生空手道選手権大会・ベスト 8、全日本理工系大学空手道選手権大会・ベスト 16 入賞など、多くの大会で優秀な成績を収めた。

工学部第一部 体育会 卓球部 (人数 71 名)

春季関東学生リーグ戦女子 4 部 C ブロックにおいて優勝し、3 に昇格を果たした。また松戸オープン・団体戦準優勝、江戸川オープン・シングルス準優勝、上福岡オープン・団体戦準優勝、川越オープン・個人戦優勝、三鷹オープン・シングルス準優勝など、男女とも多くの大会で優秀な成績を収めた。

工学部第一部 体育会 陸上競技部 (人数 19 名)

2005 横浜インドアオープン競技会・400M 走 3 位、関東理工系学生陸上競技大会・棒高跳び優勝など多くの大会で優秀な成績を収めた。また箱根駅伝においては走路員を務めるなど、大会運営に大きく貢献した。

工学部第一部 学術研究部会 自動制御研究部 (人数 40 名)

愛知万博ロボットデモストレーション・優勝、相撲ロボット大会・ベスト 16、かわさきロボット競技大会・ベスト 4、ベスト 16 入賞を果たすなど多くの大会において優秀な成績を収めるとともに本学の知名度アップについても大きく貢献した。また新潟復興支援事業に参加し、被災地区の子供たちにロボットによるデモストレーション(風船割り)を行い、被災者を励ますなど社会事業にも大きく貢献した。

理工学部 学術文化部会 自動車部 (人数 15 名)

第 24 回「本田宗一郎杯 Honda エコパワー燃費競技全国大会」へ出場し公式記録会では第 2 位、決勝では第 9 位に輝き毎年本大会では好成績を残し、全国的にも注目され彼らの活躍が大学の知名度向上に繋がっている。

理工学部 体育会 少林寺拳法部 (人数 19 名)

関東理工系学生大会で最優秀賞(第 1 位)3 回、優秀賞(第 2 位)2 回、優良賞(第 3 位)1 回、敢闘賞(第 4 位)1 回と活躍し参加大学で最も多く賞を取った大学に与えられる「関東理工系大会長杯」が授与された。また関東大会、埼玉県大会でも優勝 2 回、準優勝 1 回と活躍し今後も好成績が期待できる。

理工学部 体育会 アーチェリー部 (人数 21 名)

今年度関東アーチェリー連盟 2 部に昇格を果たした。またインカレに 3 名出場し 1 名は 3 位入賞と大学の知名度にも貢献した。

< 同窓会奨励賞授賞団体 (5 団体) 3 万円 >

工学部第一部 委員会 放送委員会 (人数 36 名)

毎年開催される OMEC (Opened Media Entertain Circles) において、優秀な成績が収められるよう日々映像技術を磨いている。努力の甲斐あって、第 20 回 OMEC 大会にて第 3 位入賞を果たした。

OMEC 加盟大学 (駒沢、聖徳、千葉、帝京、東京経済、東京理斗、法政、電大)

工学部第一部 体育会 合気道部 (人数 24 名)

学生合気道選手権大会・団体戦準優勝、学生合気道新人戦・捕技乱取優勝、打込乱取 3 位入賞するなど大変優秀な成績を収めた。

工学部第一部 学術研究部会 アマチュア無線部 (人数 40 名)

2005 年度第 47 回 ALL JA コンテスト電話部門マルチオペオールバンド種目にて全国第 5 位入賞を果たした。また今年度はアマチュア無線部発足 50 周年を迎え、記念大会を開催するなど半世紀において多くの OB を輩出するとともに今後の活躍も期待できる。

理工学部 学術文化部会 ロボット研究会 (人数 30 名)

第 12 回かわさきロボット競技大会に参加し 204 チーム出場の中、決勝トーナメント進出を果たし敢闘賞を受賞した。

理工学部 体育会 バスケットボール部 (人数 20 名)

関東理工系リーグ 3 部で優勝し 2 部昇格を果たした。当大会において得点ランキング部門がトップで表彰を受けた学生もあり、個人の活躍も高く評価された。

本年度において工学部第二部、情報環境学部からの推薦団体はなし